

令和7年度あしたのまち・くらしづくり活動賞 主催者賞受賞

地方だからこそできる 若者の「やつてみたい」で商店街を再生

新潟県三条市 株式会社TRE

活動の概要

新潟県三条市の中心市街地で、若者の流出と商店街の衰退という課題に対し、若者の「やつてみたい！」を原動力とした地域再生に取り組んでいます。大正時代のレンガ造りと昭和初期の木造の連なる歴史的建造物を再生した中心市街地拠点施設「TRE E」を核に、飲食や起業支援、イベント企画を連携させ、若者が集い挑戦できる持続可能なエコシステムを構築。シャッター街と化した商店街に新たな賑わいとコミュニケーションを創出しています。

活動の背景と目的

【背景】失われた、若者の「日常」と商店街の灯火
 ものづくりのまち三条市ですが、中心市街地の一ノ木戸商店街は人口減少等でシャッターを下ろす店が増加。「街に行きたい場所がない」という声に象徴されるように、かつてのにぎわいは失われつつありました。

【目的】「宿り木」となり、新たな芽を育む
 この状況を開拓すべく、私たちは若者が集う魅力的な「日常」を創り、「やつてみたい！」を実現する場となることを目指し、世代や背景を結ぶ交流拠点として、活動の芽が地域に広がる「宿り木」のようなコミュニティを育んでいます。



商店街の企画会議の様子



		<h3>主な活動内容</h3>	
		<p>私たちの活動は、複数の事業が連携し価値を生む「地域循環型エコシステム」として設計しています。</p>	
(1) 戰略的拠点「TREE」の創出		<p>歴史的建造物を再生した中心市街地の拠点施設。カフェは「地域への入り口」として、体験型レストランは「グランピング体験」ができる空間として集客の核となっています。施設内の庭は若手庭師の表現の場になっています。</p>	 TREEの内観
	(2) 事業の多角的展開		
	(2) 事業の多角的展開	<p>【飲食事業】商店街の肉屋、果実店、パン屋と共同開発した「TREEバーガー」は地域内コラボの象徴です。</p>	 空き店舗を使った商店街ハラジュク化イベント
		<p>【ギルドオフィス事業】起業家を招くトーキングイベントや、若者のチャレンジの伴走支援を行い、未来の地域プレイヤーを育成。</p>	
		<p>【商店街活性化事業】育成したプレイヤーが主体となり「ハラジュク化プロジェクト」や「まるまるまるしえ」等のイベントを実践。</p>	
		<p>【コンテンツツーリズム事業】アニメ『DO IT Yourself!』と連携し、聖地巡礼ファンを獲得。商店街でファンベースを運営。</p>	
		<h3>活動の成果と地域への貢献</h3>	
	(1) 定量的な成果		
	(1) 定量的な成果	<p>シャッター街から賑わいの中心へ活動に</p>	
		<p>より商店街は大きく変化しました。</p>	
	(2) 社会的評価とコミュニティへの貢献		
	(2) 社会的評価とコミュニティへの貢献	<p>若者と商店店主の協働モデルが評価され、令和5年度「地域づくり表彰」国土交通大臣賞等を受賞。取引先精肉店の火災時に募金</p>	

●一ノ木戸商店街近隣における約7年の変化

指標	活動開始前(2016年頃)	活動開始後(2023-24年頃)
歩行者通行量	316人／日	約860人／日(約2.7倍)
主要な来街者層	地域の高齢者が中心	65%以上が20代女性
新規出店増加	停滞(空き店舗増加)	10店舗



地元小学校の商店街調査



「やってみたい！をやってみた話」



若者メンバーとの集合写真

活動や、コロナ禍で失われた商店街の夜店市の復活など、地域で支え合う「顔の見える関係性」を築いています。近年では、三条市「地域おこし協力隊」の受入支援団体も担い、活動の輪は地域全体に広がっています。

活動の特色と今後の展望

【活動の特色(独自性・発展性)】

(1) 若者の主体性

若者の内発的なエネルギーによるボトム

(2) 世代を超えた協働と尊重

若者の内発的なエネルギーによるボトム
アップ型の活動。

商店街の歴史や文化を深く尊重し、若者の熱意と融合させています。設立当初から商店主の思いを汲みながらも若者の活動に説明を尽くし、一つ一つに信頼を築き、今

では既存の店主からも「街に変化を起こした」と評価されるなど、共に街を良くしたいという想いを共有し、変化を創り出す協働スタイルが私たちの核です。

(3) 斬新なアイデア

古民家再生やアニメ連携など、既成概念にとらわれない手法。

(4) 持続可能な仕組み

「集客→育成→実践」の好循環による持続的な活性化。

【地域コミュニティの維持】

「商店街」というコミュニティの維持・発

(株式会社 T R E E
代表取締役社長 中川裕稀)

展が図られ、小学生から若者、オタクと呼ばれる人たちまで受け入れてくれる商店街の魅力を発揮しています。

【今後の展望】

私たちの挑戦は商店街再生に留まりません。このモデルは多くの地方都市が応用可能だと確信しています。これからも「宿り木」として、一人ひとりの「やってみたい！」に寄り添い、地域社会の未来を照らす光であり続けるべく活動します。